



高精細複製品×映像体験

国宝・名宝が 福島にやってくる!?

4.18(土)→5.31(日)

花の写真館(福島市写真美術館)

入館無料

9:30-16:30 ※最終入館は16:00まで

住所=〒960-8002 福島県福島市森合町11番36号 | 主催=福島市、福島市写真美術館((公財)福島市振興公社) | 共催=キャノン株式会社、福島キャノン株式会社
協力=特定非営利活動法人 京都文化協会、独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター、スミソニアン国立アジア美術館、大本山 建仁寺、臨済宗妙心寺派 天球院、キャノン
マーケティングジャパン株式会社 | 後援=福島県立美術館、NHK福島放送局、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、
ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMボコ | お問い合わせ=福島市文化振興課 (TEL 024-525-3785)
※会場混雑時には、入場をお待ちいただく場合がございます。

あの国宝・名宝が、再び福島へ！

2023年にご好評をいただいた「高精細複製品 × 映像体験 国宝が福島にやってくる!？」の続編開催決定！

この春、花の写真館に、日本美術を代表する絵師たちの名品がやってきます。

展示されるのは、国宝・名宝をもとに制作された綴プロジェクトの高精細複製品。

本物さながらの迫力を間近で体感できる展覧会です。

今回のテーマは「桃山時代の対決」「琳派の巨匠」「江戸時代の浮世絵師」。

3つの切り口で6人の絵師と7つの名品をご紹介します。

あわせて、日本美術の魅力を凝縮した映像体験コンテンツもお楽しみいただけます。

時代を超えて実現した絵師たちの競演を、ぜひ会場でご覧ください。

躍動と静謐。桃山時代の頂点を競う二人の天才絵師対決！

永徳
×
等伯



国宝『檜図屏風』高精細複製品★
原本：狩野永徳 筆 | 東京国立博物館所蔵



国宝『松林図屏風』高精細複製品
原本：長谷川等伯 筆 | 東京国立博物館所蔵

100年越しの邂逅。時代を超えて受け継がれた技と感性

宗達
×
光琳



国宝『風神雷神図屏風』高精細複製品
原本：依屋宗達 筆 | 大本山 建仁寺所蔵



『群鶴図屏風』高精細複製品
原本：尾形光琳 筆 | スミソニアン国立アジア美術館所蔵

江戸の粋！世界を驚かせた浮世絵の“源流”と“革新”

師宣
×
北斎



『見返り美人図』高精細複製品★
原本：菱川師宣 筆 | 東京国立博物館所蔵

菱川師宣の作品は、『江戸風俗図屏風』（原本：スミソニアン国立アジア美術館所蔵）の高精細複製品も展示します。



『十二月花鳥図』高精細複製品
原本：葛飾北斎 筆 | スミソニアン国立アジア美術館所蔵

日本美術を身近に感じる映像体験コンテンツ

日本美術
×
映像



あなたも福島で見返り美人

モニター前でポーズ！あなたも令和の見返り美人になってみませんか？



綴プロジェクトが生み出す美の分身

綴プロジェクトが再現する天球院方丈障壁画。時を超えて受け継がれる「日本の美」を臨場感あふれる映像体験でお楽しみください。



綴プロジェクトについて

キャノンとNPO法人京都文化協会が行う社会貢献活動「綴プロジェクト」(文化財未来継承プロジェクト)は、日本の貴重な文化財の高精細複製品を制作し、その魅力を広く伝えることで、日本の文化を未来へ受け継ぐプロジェクトです。

<https://global.canon/ja/tsuzuri/>

★の作品は国立文化財機構とキャノン株式会社による「高精細複製品を用いた日本の文化財のための共同研究プロジェクト」により制作しました。

花の写真館(福島市写真美術館)

4月18日(土) - 5月31日(日) | 入館無料

9:30-16:30 ※最終入館は16:00まで

お問い合わせ＝福島市文化振興課 (TEL 024-525-3785)



展覧会詳細



●路線バスをご利用の方

「福島駅東口停留所」9番ポールから

「福高前」下車。停留所より徒歩約1分。

※市内循環もりん2コース(県立美術館)に乗り(乗車時間約5分)または市内循環もりん1コース(上町)に乗り(乗車時間約17分)

●お車をご利用の方

東北自動車道飯坂インターから市街方面、国道13号を經由。約15分。

会期中、駐車場はご利用いただけません。

公共交通機関をご利用いただくか、

お近くの有料駐車場をご利用ください。

※おもいやり駐車場(2台)はご利用いただけます。

●徒歩でお越しの方

福島駅東口より約15分

●MOMORIN

シェアサイクル

右の二次元コードから詳細をご覧ください。

